

第36回海事立国フォーラム in 長崎2025

- ONE DEJIMAの現状、取組及び目指す姿 -

2025.

11.14

ONE DEJIMA株式会社

遠山 直人

Empowering global business
from Nagasaki.



遠山 直人
ONE DEJIMA株式会社
代表取締役

【経歴】



【専門分野】

- プロジェクトマネジメント
- ビジネスアナリスト（業務分析・設計）
- アウトソーシング

【教育】

- 経済学修士 (1997年, 早稲田大学)
- 技術経営修士 (専門職) (2024年, 東京工業大学 (現: 東京科学大学))

ONE DEJIMAの取り組み

1
ONE DEJIMA

会社名

ONE DEJIMA株式会社

所在地

長崎県長崎市尾上町1-1 JR長崎駅ビル5階

事業ドメイン

Knowledge Process Outsourcing (KPO)

設立

2023年12月12日

開業

2024年5月1日

資本金

1億円

株主

- Ocean Network Express Pte Ltd.
- アンカー・シップ・パートナーズ・グループ
- 十八親和銀行

代表取締役

遠山 直人 (社長)・小佐々 佳生 (専務)

従業員数

39名 (長崎32名, 香港: 1名, ホーチミン: 6名) * 9/8付

[Link for corporate movie](#)

- ↓
- **U/Iターン比率**: 現状 62.5% (目標70%)
 - **海外籍比率**: 現状9.38% (目標30%)

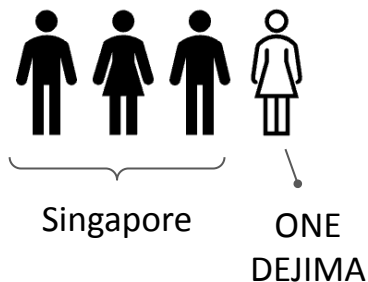


中期経営計画達成(ONE 2030)に向け人財需要が高まるONE本社 (シンガポール)業務を担う組織として設立された。現在は人事（採用・産学連携）・経理・子会社管理・市場調査・新造船／サービス網維持・デジタル等様々な領域でコンテナ海運ビジネスを支えている。将来は本社以外の他拠点からの業務移管を狙う。

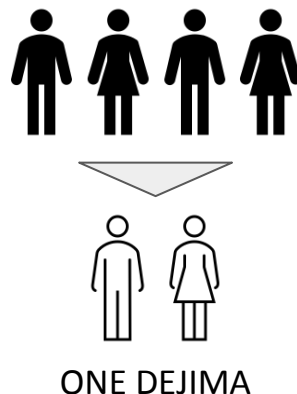


現状

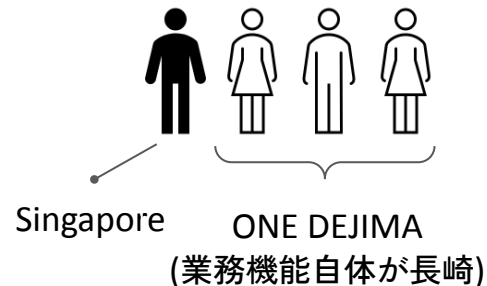
(A) チーム構成員



(B) 業務の一部を長崎に移管

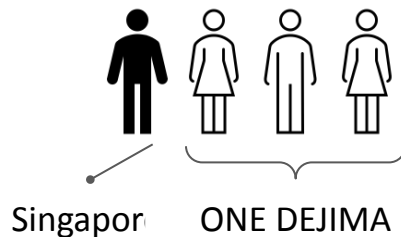


(C) ONEにとって初めて実施する業務



未来像

戦略実行の役割は全てONE DEJIMAへの移管が目標。



- 人事採用コンサルティング
- 市場調査
- データ分析・アナリティクス
- 経理・財務分析・提言
- デジタルトランスフォーメーションとAI活用

補足: ONE本社向け提供サービス

ONE本社の各3部門より、以下の業務を受託している。現在も業務範囲・内容共に拡大している。

Corporate & Innovation

- 財務・経理
- 経営企画、環境
- 代理店管理
- デジタル部門(BPIT)
- グローバル人事
- 法務
- 総務

Product & Network

- 船隊整備
- 本船運航管理、安全・品質
- 燃料調達
- コンテナ調達・フロー管理
- ターミナル管理・調達
- ネットワーク管理
- 技術部

Marketing & Commercial

- 航路採算管理
- グローバルセールス
- グローバルカスタマーサービスマネジメント
- イールドマネジメント

- 人事
 - 採用活動と労務管理
 - 産学連携
- 制度決算業務／与信審査
- 代理店網維持(予実管理、法人管理等)

- 新造船建造のための図面承認に関わる庶務
- 命名式サポート
- 傭船料精算、パートナーとのスペース精算
- 船舶就航データ解析

- 市場調査(マクロ・ミクロ調査)
- KPIに基づく事業管理のCOE(Center of Excellence)
- グローバル入札

長崎発のKPOとして発足したONE DEJIMAは単なるONEの下請け組織ではなく以下の特徴を持つ出島組織である。
この特徴を活かし企業を成長させる。



半独立性

親会社の枠組みの中でも自律的に意思決定ができる体制。



外部接続性と共創

大学、自治体、スタートアップ、他業種企業など外部との共創・交流を積極的に行う特性。



柔軟な実験

意思決定プロセスを簡略化し、素早い試行錯誤が可能となり、イノベーションが生まれやすい環境を構築できる。



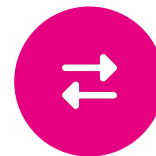
デジタル変革

通常は既存業務や文化的制約が変革の障壁になるが、柔軟な実験ができる環境では、最新テクノロジーの実証や導入をスピーディに進めることができ、変革の実験場として機能する。



知の深化

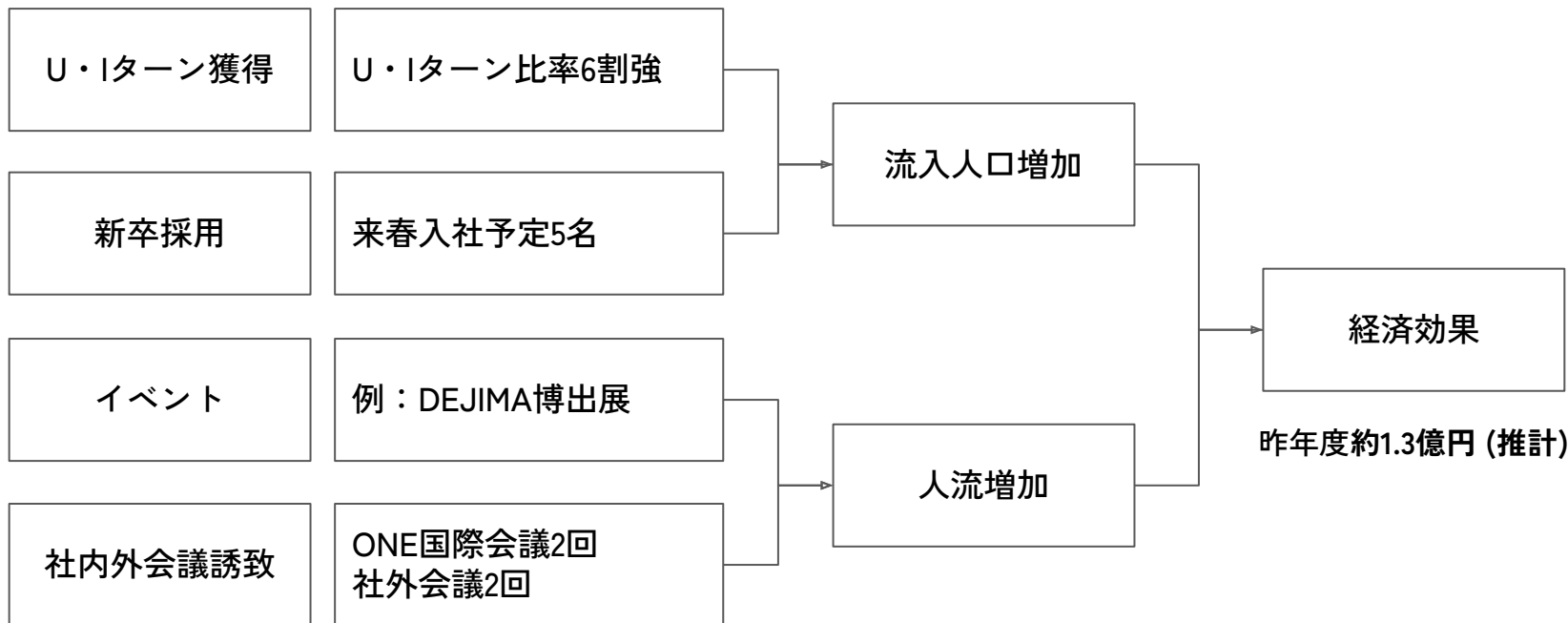
外部企業へのサービス提供を通じて多様な業界知識や課題解決経験を蓄積。自社だけでは得られない視点や手法を習得し、KPOとしての専門性を高める。



知の循環

外部から得た知見を本社に還流し、本社のノウハウを外部へ発信する双方向の流れを生み出す。外部接続性を活用した「知の循環」により、外部接続性がより高まる。

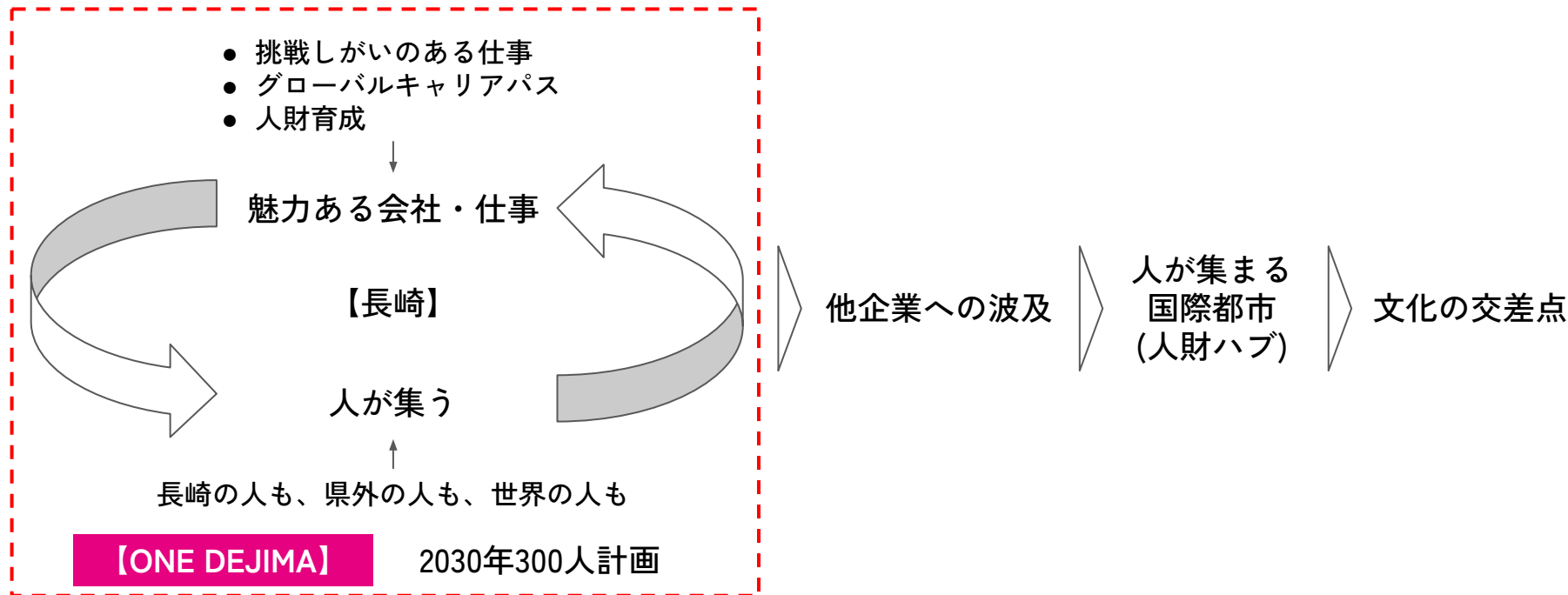
ONE DEJIMAの昨年度の進出効果(約1.3億円)の殆どは流入人口増加によるもの。



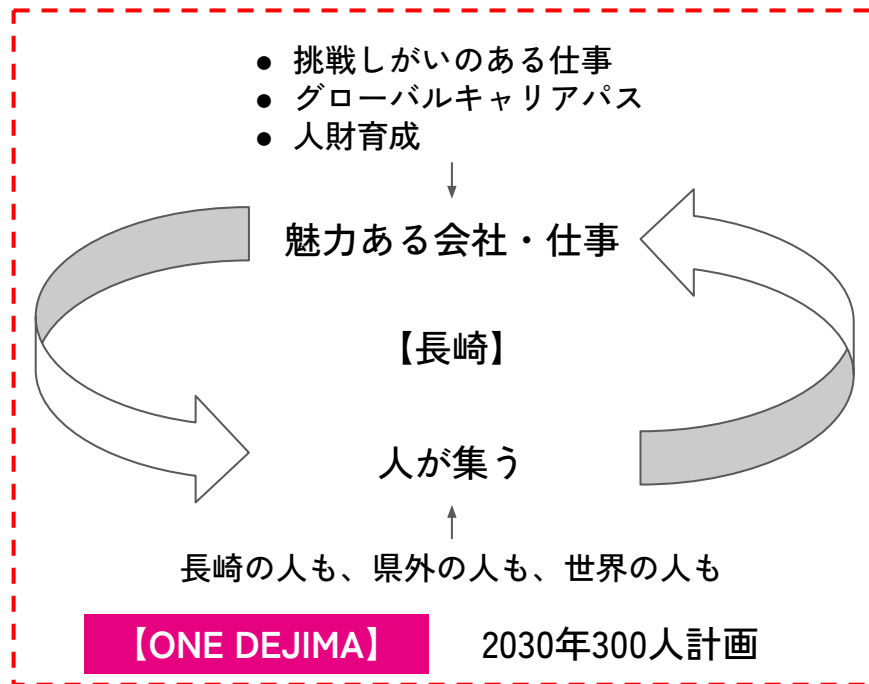
長崎海事クラスターの現状と課題



魅力ある会社・仕事を創り続けることにより多くのタレントが長崎に集まることを目指す。



目指す姿の実現のためにはより人が集しやすい環境にすること。



観光資源の有効活用

再訪したくなる街

他企業への波及

人が集まる
国際都市
(人財ハブ)

文化の交差点

住宅問題

交通の利便性

